

シルバー ながの



公益社団法人
長野県シルバー人材センター連合会
〒380-0841 長野市大門町51番地1
TEL 026-237-4680 FAX 026-237-5665



国宝 仁科神明宮 式年正遷宮祭

仁科神明宮は大町市社宮本に鎮座する神社で、平安時代の終わりごろ、伊勢神宮領仁科御厨（伊勢神宮の庄園）を守るために、この地方の豪族であった仁科氏により奉られました。以来、千年以上にわたり二十年に一度の遷宮（式年造営）が行われてきました。

現在の建物は江戸時代初期の端正な建築であり、わが国古来の「神明造」の様式を正確に伝えており、本殿、釣屋、中門は神明造の建築物として最古の建物であることから、国宝に指定されています。

式年遷宮は、伊勢の皇太神宮にない二十年に一度執り行われ、前回平成十一年から二十年が経過した、昨年令和元年十一月に式年遷宮祭を迎えました。南北朝の永和二年から造営棟札はすべて保存されています。このように六百四十年もの長い間この祭祀を一度も欠かすことなく行い、その記録を遺してきたことは全国に例がなく、江戸時代末の安政三年までの二十七枚は国の重要文化財に指定されています。

式年正遷宮祭は、社殿の造営修理のあいだ仮宮にお遷りいただいていたご神体を本殿にお遷りする祭祀で、午前0時過ぎ漆黒の闇のなか、神官・氏子によって厳粛に執り行われ、人目に触れないよう白い布で囲われたご神体は無事、本殿に安置されました。

屋根が葺き替えられ装いも新たな仁科神明宮に是非お参りにお越しください。

○写真提供／大系タイムス株式会社

○問い合わせ／仁科神明宮

（0261・62・9168）

安全・適正就業推進大会 松本市で開催

10月18日、安全・適正就業推進大会が松本市の波田文化センターアクトホールにおいて開催されました。当日は、各センターの安全・適正就業推進委員など160名の参加の中、連合会酒井会長の挨拶に続き、青木安全・適正就業対策推進委員長が挨拶を述べ、続いて、7月の安全・適正就業推進月間に募集した安全標語の入賞者の表彰を行いました。



▲ 酒井会長挨拶

安全標語・最優秀賞は 駒ヶ根伊南SSCの 下平 富貴男さん

応募総数701点の中から、外部審査員を交えた審査の結果、駒ヶ根伊南シルバー人材センターの下平富貴男さんの作品が最優秀賞に選ばれ、他の入賞者と共に、安全・適正就業推進大会において酒井会長から表彰状が贈られました。



▲ 青木委員長挨拶

安全就業の講演は 小諸北佐久SSC 小林 専務理事・事務局長

続いての講演では、小諸北佐久シルバー人材センター専務理事事務局長の小林憲一氏に、「請負就業と派遣事業の取り組み」と題して講演をいただきました。

小林講師からは、センターの設立や経過、会員数や契約などの現状、小諸・御代田・軽井沢・立科の四地区で構成されている旨の説明に加え、互助会への助成金廃止や剪定枝処理の改善、配分金の支払日の変更などこれまでの取り組み等の成果を説明いただきました。

次に、過去10年間に発生した事故の分析を通して、草刈と剪定の事故が多いことや当該作業に係る会員の減少や高齢化が課題であり、会員に過度の負担を掛けることの無いよう受注方法を変更（受注の平準化）した旨の報告もありました。

併せて、安全ミーティングの徹底や全会員のマナー・交通安全講習会の受講により、会員の資質向上と安全意識の高揚を図ったことが紹介されました。

適正就業の推進に向けては、指揮命令が疑われる業務については、特に公共を中心に改善を図るとともに、衛生委員会を設置し会員の健康管理を図っているとされました。

最後に、草刈り・剪定の会員が減少する中、持続可能なシルバー運営のためには公共部門における適正就業の更なる推進と民間への就業開拓など派遣事業の拡大が必要になっていくと結ばれました。



安全就業の研修は 連合会の内田指導員

内田パトロール指導員から、今年度上半期の事故原因のほとんどは不注意や確認不足が原因であり、95%は防げる事故であったことが報告されました。

ヒューマンエラー事故を無くすためには、「一人ひとりが危険に対する感受性を鋭くし、行動の要所所で集中力を高めることが必要」であり、危険予知活動（KY活動）はもとより、作業前に必ず「安全ミーティング」及び「健康体操」を行うことを徹底するよう呼び掛けました。



▲ 標語表彰の皆さん

令和元年度

「安全・適正就業 標語」の表彰者名簿

最優秀賞 駒ヶ根伊南SSC 下平 富貴男

「まず無くそう だろう」

まさかの 思い込み」

優秀賞 上田地域SSC 中沢 芳江

「まだ出来る」

慣れと過信が 事故のもと」

佳作 須高広域SSC 関 光男

「安全は

仲間同士のチェックから」

佳作 駒ヶ根伊南SSC 片桐 英雄

「ミーティング

事故の芽を摘む 仕事前」

佳作 飯山地域SSC 徳永 保雄

「危険作業 しない

させない みんなの目」

理事長・事務局長合同意見情報 交換会及び正・副理事長研修会 長野市で開催

本年度の理事長・事務局長合同意見情報交換会が12月13日、長野市の「ホテル信濃路」で県下20センターの理事長・事務局長40名が参加して行われました。

酒井連合会会長の挨拶に続き、「会員拡大の取組み」、「会員減少に伴う受注制限」、「安全就業 チェーンソー作業に対する対応」、「配分金単価の決定について」、「構成市町村補助金について」の5項目について熱心な意見交換が行われました。

午後からは、45名の参加を得て、正・副理事長研修が行われました。酒井連合会会長の挨拶の後、講師に（公財）ダイヤ高齢社会研究財団の石橋智昭

研究部長を迎え、「80歳以降も活躍できるシルバー人材センターの就業のあり方について」と題して講演をいただきました。

第一部の「なぜ80歳代に注目？」では、データに基づいて会員の年齢構成の変化により、平均年齢が06年の70・6歳から16年には73・2歳になっていること、更に雇用延長等により新入会員の年齢も上がってくることから、会員の高齢化



は一層進むと指摘されました。そこで、会員増加を図るには、会員退会抑止がカギであり、加齢に応じた仕事内容にしていくことが必要とされました。また、シルバー人材センターの目的が労働福祉かという議論は以前からあるが、高齢者の四人に一人は認知機能障害を発症する現状では、即退会ではなく、支え合いにより働き続けることができる「共生社会のシンボル」として地域のシルバーへの期待が高まっていると話されました。

第二部の「必要な3つの取組み」では、①会員の健康管理に一步踏み出すことの必要性や②無理なく安全に働くためには仕事の強度（体力）や能力を考慮し、③仕事の切り分け等により会員に合った仕事（報酬）にする重要性についてお話をいただきました。社会情勢の急激な変化に対して、皆で組織のあり方を考えるべきと痛切に感じました。

令和元年度 高齢者活躍人材確保育成事業実施状況 (令和元年12月末日現在)

	講座名	開催数	申込者数	参加者数	修了者数	新規入会者数	就業者数
セミナー	学びの講座	6	134	113	113	4	3
	暮らしのセミナー	4	79	76	76	0	0
	食育セミナー	5	444	433	433	7	4
	女性のためのセミナー	1	25	20	20	8	1
	健康応援セミナー	6	248	244	244	0	0
	シニア世代のいきいきセミナー	4	186	159	159	5	1
周知・広報	市町村広報・新聞・テレビ・チラシ等	-	-	-	-	578	422
就業体験	公園管理就業	1	7	6	6	4	3
	刃物研ぎ就業	2	27	27	27	0	0
	お家の障子を貼ってみませんか	1	5	5	5	2	1
	ブドウ収穫作業	1	19	15	15	7	7
	薬草公園でハーブ植え	1	4	4	4	0	0
	観光ガイド	1	9	9	9	0	0
	ハウスクリーニング	1	9	9	9	3	0
技能講習	健康食と郷土料理講習	3	38	33	27	11	4
	庭木の手入れ講習	2	34	31	31	12	9
	庭木・庭園管理講習	1	9	7	6	2	2
	60の手習い、日常生活支援講習	1	16	14	13	9	7
	日常生活支援講習	1	16	8	8	6	5
	暮らしに役立つお掃除講習	1	17	13	13	1	1
	パソコン基本から学び直し実用講習	1	17	15	15	0	0
合計			1,343	1,241	1,233	659	470

令和元年度高齢者 活躍人材確保育成事業

本年度は高齢者の就業を推進するため、広報活動・就業体験・技能講習などを通して、高齢者、企業さま双方にシルバー人

材センターを知っていただくことを目的として積極的に事業に取り組んでまいりました。まずは、「何かあったらシルバーに相談を」を合言葉に県内あちらこちらで、「シルバーのお仲間になりませんか」と呼び続けています。

受講者の声

健康食と郷土料理講習に
参加して
気賀沢 和美

辰野町在住の兄がシルバー人材センターで頑張っている事を聞いて興味を持ち、その後新聞記事を見て、早速申し込んで参加しました。

病気は持っているものの、人生何事にもあきらめる事なく挑戦し、常に自分らしく健康で長生きしたいというライフスタイル、チャレンジ精神はずっと変わっていません。シルバー人材センターのお仕事をこれからの老後のライフワークとして

て取り入れていきたいです。県内で多くのシニア世代の皆さんの仲間入りをさせていただき、大きく広く繋がっていることを実感しつつあります。

公民館主催の行事や教室、講習会、催し物、ボランティアなどにも参加して、充実した毎日を送っていますが、健康で長生きするためには、これからもフレイルを防ぎ、エース(A・C・E)プロジェクトに取り組んでいきます。

料理講習で学んだ事は、日常生活でテキストを活用し、実践していきたいと思っています。

最後に、支えていただいたサポーターの皆さん、一緒に受講したお友達、本当にありがとうございました。

「庭木の手入れ」受講に当たって

大槻 勤

今回、貴重な体験を頂きまして有難うございます。

正直なところ植物の名前も知らず六十年余り過ごして参りました。

我が家にも小さいながら庭木があり、毎年恒例の庭師さんがやって来る。ただそれだけでしたが、昨年定年退職し、時間に追われる毎日から一転して自然と向き合い庭の木々を眺めながら草むしりをする、そんな折自分が手入れができたなら楽しいんじゃないかと思っていた矢先、担当の小林さんから友人を介して庭木の手入れ講習を知り、今回シルバー人材センターでの受講が出来ました。



▲ 樹木30種類の説明

貴重な資料も頂き、講習ではOBの方々、実践を指導していただいた梅乃屋さんによる素人にも分かり易い熱心な指導を頂き、イチイの頭上は平らに、などポイントをいくつも教えてくださり勉強になりました。

この感想文は、二回目が終わった時点で書いていますので、後一回の講習も楽しみです。

これを機にシルバー人材センターの事を身近に考えていこうと興味が出ました。

最後となりますが、講習会にご尽力頂いた皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。



60の手習い日常生活支援講習を受講して
伊藤 ふく子



▲ ハウスクリーニング

仕事を完全にリタイアしてから、もうじき一年になる。私の新しい仕事は、家事と孫達の世話となった。気がつくと思間一言も話をしない日がある。ペットの猫も年老いて、私の話し相手になつてくれなくなった。

社会との関わりがなくなり、人と会う事が億劫になり出していた。残りの人生、同居してくれている娘達家族のために尽くすと決めていた。娘は、今まで精一杯働いてきたのだから、これからはゆつくり好きな事をして生きていった方がいいと言ってくれている。

そんな時、妹に誘われてシルバー人材センターに申し込むことになった。しかし、内心乗り気ではなかった。やはり外へ出ることに勇気が持てなかった。予定に組まれた技能講習参加も、二日間は病気の孫の世話で欠席した。三日目の料理講習会より参加させていただいた。

久しぶりに見知らぬ人達との共同作業、もたもたしながらも、楽しく時を過ごさせてもらった。

現役時代と違い人とのつながりは、自分から外に出ていかななくては広がらない事に気づかされた。この事は、私にとって大きな収穫であったと思う。ありがとうございました。

◆◆◆ 新規入会者の声 ◆◆◆

ブドウ収穫作業体験

川口 博司

上田地域シルバー人材センターに現在お世話になっていますが、きっかけとなった就業体験について、お話しさせていただきます。

人生100年時代の中、67歳で前の会社を退職することになりました。

残りの人生どのように過ごすか。お陰様で、体力だけはあるので、簡単な作業はできるのではないかと人材センターに訪問した時、ブドウ収穫体験のイベントを紹介されました。

イベントは9月11日 某ワイナリーのブドウ農園で行われました。

雨天の場合、雨具を着ての作業と聞いていましたが、当日は快晴で、心も晴れやかにになりました。参加者は20名程度でしたが、皆でブドウをハサミで摘み取りプラ箱に入れるだけの作業でした。

最初は、ブドウの房が絡み合っていて、切り取りに時間がかかりましたが、すぐに慣れて手際よくできました。少しは汗もかき、美味しい空気も吸って、長生きできるのではないかと思います。



▲ぶどうの摘み取り

作業の休憩時間に、農園の方からワイナリーの歴史、ブドウの種類、ワインのお話もして頂き頭も使いました。

当地域は、日当たりも良好、降水量も少なく、昼夜の温度差も大きく、ヨーロッパに負けないワインができるようです。是非ご試飲ください。

作業終了後、人材センターの方から、センターの概要、入会のお勧め等の説明

を頂き、後日入会いたしました。

普段では体験できない作業ができて、ワインにも興味を持つことができました。ありがとうございました。

前向きに……

北原 寛子



おしゃれ講座

この度、シルバー人材センターに入会させていただき、ただ平凡に年を重ねている日々を、前向きに考える機会を与えていただきました。

お陰様で、これからの人生に大きな生きがいを見つけることが出来ました。

きっかけは、たまたま主人が長野県シルバー人材センター連合会の仕事に関わっており、諏訪市シルバー人材センター主催の「60歳からの女性いきいきセミナー」への参加を勧められました。内容は、健康体操・おしゃれと、ちよっぴり興味がりましたので、友達を誘い参加することにしました。4日間の講習でしたが、身体を動かすことの大切さ、おしゃれへの関心の大切さ、趣味を活用することの大切さ、たくさん参加者の皆さんと楽しく触れ合いながら有意義な知識を得ることが出来ました。

終了後、シルバー人材センターの趣旨・内容の説明をお聞きし、共感するものが

多々ありましたので、友達と入会することになりました。80歳近い私に何が出来るか不安でしたが、年末に毛筆での年賀状の宛名書きのお話を頂きました。書くことは好きでしたのでお受けし、久しぶりに筆をとり、緊張した時間を過ごすことが出来ました。日常、家事のみの平凡な生活でしたが、シルバーセンターの仕事を通して頂き、こんな仕事もあるのだと、改めてびっくりしました。

さらに配分金も頂き、自分で働いたお小遣いも嬉しかったです。

またまだ年には負けません。年齢に関係なく仕事の出来る喜びを、諏訪市シルバーセンターで見つけました。センターには会員参加のサークル活動もあり、早速参加させていただきました。多くの方達とふれあい、「生涯現役」を目標に、これからの人生を活力的に生きたいと思えます。



▲60代からの女性のセミナー

公益社団法人
松本地域シルバー
人材センター

〒390-0864
松本市宮瀨本村1番10号
TEL 0263-39-6680
FAX 0263-39-7788

- ・理事長 青木 敏和
- ・副理事長 村山 康文
- ・専務理事・事務局長 矢久保 学
- ・法人設立 昭和58年6月1日
- ・構成市町村 松本市、山形村
- ・会員数 1,640人(令和元年12月末現在)
- ・契約金額 8億2,610万円

シルバーだより



Matsumoto



女性会員拡大の国宝開智学校見学
(R1.10.24)

センターの概要

当センターは、松本市と山形村を対象エリアとしています。松本市と山形村は観光道路日本アルプスサラダ街道で結ばれ、国宝松本城、上高地、美ヶ原、清水寺等の観光地が有名です。そして、教育や文化に熱心な気風が伝統として受け継がれています。

会員は、昨年度77人増加し、全国の「会員100万人達成計画」の初年度の目標値を達成することができました。事業規模は昨年度5年振りに8億円台を回復し、今年度もほぼ順調に推移しています。当センターの特色は、会員の作った作品や農作物を販売するシルバーショップと喫

茶の運営をはじめ、門松製作やパソコン教室等、7つの独自事業を展開していることです。

女性会員の
拡大への取り組み

当センターでは、現在3割に留まっている女性会員の拡大が課題となっています。そこで今年度は、女性委員会の女性委員が企画した4つの事業に取り組みしてきました。1つ目は女性会員が講師となった料理教室、2つ目は女性に人気の風船フラワーづくりの講習会です。3つ目は新たに国宝となった開智学校の歴史のお話しと見学会を開催しました。そして、4つ目は奈川・乗鞍への女性限定のバスハイクです。これらの事業には、大勢の女性の皆様にご参加いただきましたが、実

際に入会された方は期待したほどには多くありませんでした。しかしながら、女性委員会が事業を企画運営することを通じて、男性中心のシルバーの在り方やシルバーのイメージ転換の必要性について考えるきっかけとなりました。こうした事業を積み重ねる中で、女性

の意識が少しずつ変化し、女性会員のコミによる会員拡大の輪が広がっていくのではないかと考えています。今後とも生涯現役社会、地域共生社会の実現に向け、当センターに期待される役割を十分自覚しながら事業に取り組んでいきたいと思



女性会員拡大のバスハイク
(R1.10.31)



女性会員拡大の料理教室
(R1.10.16)

活動の紹介



全シ協の姉崎専務理事がシルバーショップ視察
(R1.11.22)



シルバーまつりの展示コーナー
(R1.11.8)

公益社団法人
阿南広域シルバー
人材センター



深見の祇園祭(阿南町)

毎年、7月第4土曜日、深見の池に筏を浮かべて行われる、宵祭り。

〒399-1504

下伊那郡阿南町西條2333番地1

TEL 0260-31-1171

- ・理事長 金原 攸
- ・副理事長 勝又 慧
- ・常務理事・事務局長 松澤 幸永
- ・法人設立 平成13年3月9日
- ・構成町村 阿南町、売木村、下條村、天龍村、泰阜村
- ・会員数 350人(令和元年12月末現在)
- ・契約金額 146,635千円(平成30年度実績)

シルバーだより



ANAN

地域の概要

当地域は、県の最南端に位置し、愛知県と静岡県に隣接する自然豊かな地域で、天龍川の東西に位置しています。

海拔300mから1,000m前後までの起伏に富む五町村で構成され、総人口約1万1千人、総面積約379K²m、高齢化率33%〜61%、平均42%と超高齢化地域です。

こういった地域ですが、当センターでは粗入会率約6%と全国平均の1.7%に比べても高い水準を維持しています。しかし、平成23年度をピークに会員の減少が続いています。令和2年度に設立20周年

を迎えるにあたり、会員拡大への取り組みを強化していきます。

女性部の活動

ここ数年、女性会員向けの就業依頼が増加し一人の会員がいくつもの業務を重複しての就労、要望期日に間に合わない、長時間待たせてしまう等発注者に迷惑をかける状況が続き、今後ますます要望が増加するなかで、会員の確保、特に女性会員を確保することが重要と考え、平成27年度に女性部を発足し実質的な活動は28年度から始まりました。

発足当時は、女性特有の独自事業や福祉施設への慰問・各種行事・研修への積極的な参加を計画しましたが、独自事業

については就労等の兼ね合いや経験者不足等からなかなか実施出来ず、各種行事等への積極的な参加から始めました。これにより、シルバーフェアーでの農産物販売では、威勢のいい女性の掛け声により多くの人が立ち寄っていただけのようになり、販売品も完売するようになりました。

30年度には、高齢者活躍人材育成事業の一環として、学童保育支援講習会を開



毎年、10月に行われる、シルバーフェアー



学童保育支援講習会

活動の紹介



福祉施設へのボランティア活動



福祉施設へのボランティア活動

催し、これをきっかけに新たな女性会員さんを確保することもできました。また、この地域に多数ある福祉施設へのボランティアについては、順番を決めて訪問し、雑巾縫い・衣類のほつれ等の直し・窓ふき・草取り等を行い、施設の皆さんに大変喜ばれ、会員の表情にはやさしい笑顔が溢れていました。

今後も、「気楽に・楽しく・元気よく」をモットーに活動していきたいと思えます。

令和元年度 北信越ブロック 県連合・活動拠点 職員研修会・経験交流会開催

11月21日（木）から22日（金）の二日間にわたり長野市松代のロイヤルホテル長野において、令和元年度北信越ブロック県連合・活動拠点職員研修会・経験交流会が開催されました。

酒井登連絡協議会会長の挨拶の後、長野市長代理の高橋要商工観光部長の歓迎の言葉をいただきました。

続いての研修会では、第一部として全国シルバー人材センター事業協会の姉崎猛専務理事から「令和時代のシルバー人材センター事業―北信越ブロックシルバーへの期待」と題して、ご講演をいただきました。年々高齢化が進展する中であるが、会員拡大に向け積極的な広報活動を通じて、シルバー人材センターのイメージ向上のための取り組みが必要なこと、健康維持や地域社会での活躍などシルバー人材センターが果たしている役割について貴重なお話をいただきました。

第二部は分科会のグループ討議で、第一及び第二分科会が「女性会員拡大への取り組み」、第三及び第四分科会が「安全就業への取り組み」、第五分科会が「適正就業への取り組み」をテーマに、熱心な討議が行われました。

その後の交流会では、長野の地元の食材を生かした料理に舌鼓を打ちながら、職員同士の和やかな会話に盛り上がりつつありました。

二日目は、昨日の分科会を皮切りに、



第三部としての全体会では、それぞれの分科会の座長さんから、発表をしていただきました。

全シ協の姉崎専務理事も総評において述べておられました。今回の分科会では、予め参加者から寄せられたテーマに基づき、希望した分科会への参加というスタイルでの開催であったことで、積極的な討議を通して、より議論も深まったという感触がありました。

午前中で全ての日程を終了し、参加者はそれぞれの地元への帰路につかれました。主催県として、この研修会が少しでも今後の業務の糧になればと願っております。



自動車運転時の事故が増えています!!

平成31年4月〜令和2年1月における交通事故及び自動車運転時の事故件数は16件（昨年同期13件）発生しています。

傷害事故では「交通事故（道路・その他）」6件（同11件）、損害賠償事故では「自動車・機械・用具等の誤作動」のうち自動車の運転ミスが10件（同2件）となっています。自動車の運転ミスによる事故が多発しています。KYT危険予知活動を実施し、危険を見つけ出し、安全対策を確実に実施しましょう。

《事故防止策》

- 高齢ドライバーの中には、身体機能の衰えに気づかず、危険な運転を行っている場合もあるため、適性検査などを受検し、自分の運転特性を理解する。
- いつもの道だから大丈夫だと思わずに、安全は自分の目で確認する。
- 左右の道路からの車両、左折する時の巻き込みには、特に注意が必要です。
- 一時停止標識のある交差点では、きちんと止まって安全確認をする。
- 信号のある交差点では交差点において、右折中の車両と、対向車線から直進してくる車両との事故に注意する。
- 危険を見落とさないように、視線を意識的に左右に動かす。

《厳寒期の車両運転に係る注意喚起について》

- 1、朝晩や日陰での路面凍結が考えられます。油断せず、慎重な運転に心掛けましょう。
- 2、利用者の安全と安心を第一に心掛け、スピードを控えた運転をしましょう。
- 3、スタッドレスタイヤの減耗状況の確認と対応、積雪時のチェーン装着も考慮しましょう。
- 4、体調が思わしくない場合は無理せず、早めに申し出ましょう。

編集だより

「新型コロナウイルス」と聞くと、諸兄の中でも「自動車の車の事かと思われた方もおられるのでは（私も同じです）。しかし、報道でご存じのとおり、全世界への拡大が止まらない、新型のウイルスのこと。このウイルスの表面に花弁状の突起があり、太陽のコロナのように見えるからとのことだが、なぜか心がざわつくのは私だけか？ それにしても、以前起きたSARSやMERSの頃より、拡散が桁違いに早い。これは、人の移動が全世界的で大規模であることの証左とも言える。情報も、また然り。テロバイトやネットを使った個人や企業への攻撃が頻りに紙面を飾っている。

昔から、「〇〇千里を走る」という諺があるように、誹謗中傷が面白可笑しく拡がる様は、今も昔も人の性なのか。

芸能人のスキャンダルも物凄い勢いで叩かれる、大人の世界でもいじめが平然と行われるのは、人を攻撃することです。取り早くストレスが発散できるからとか。我々、シルバー仲間にはそんなことはないと思っている。一年ずつ年は重ねても、皆でお互いにカバーしながら、協力できる素晴らしい関係だから。

それに、仕事でも真剣に、精一杯力を出し切っているから、相手先の評判も頗る良い。このことが、急速に拡散してしまつたら、会員も凄い勢いで増え、仕事の依頼も断らざるを得ない状況になってしまう。

立春を過ぎてからの初夢なのか。それにしても、皆さん、感染予防のための「うがいと手洗い」はくれぐれも怠りなく。